

横越

第 20 号

平成27年9月1日
(2015)

コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 385-2111



「水郷の花嫁さんは船で行く」写真コンテスト

小阿賀花嫁大賞「お幸せに！」

秋葉区 伊藤英雄さん

区長懇談会開催される

会長 本間 一人

七月二十九日、新しい区長を迎えて区長懇談会が開催され、三件の質問がよせられました。

まず一件目は、旧横越中央保育園の活用についてでした。頑丈な建物なので何か利用できないか検討しましたが、結局取り壊し売却することとなったそうです。工事期間中近隣の皆様には迷惑をおかけしますが、注意の上解体工事をするとの回答でした。

次に、二本木地域の仮称江南駅について、新潟市が農業特区の指定を受け、二ユーフードバレー事業を進めています。大規模な農業施設や住宅団地、そして長年の懸案である仮称江南駅の建設ですが、国が人口減少社会に於いて新たな住宅団地造成は抑制していくという方針を打ち出したことからこの事業に重大な支障をきたすのではないかと、この心配から質問しました。回答は、その心配もある

が、五月に地権者にも説明して準備をすすめているとのことでした。今後も注目し見守って行きたいものです。

三点目は、藤山の竹林の館の利用についてでした。かつては鍵を地元で管理し比較利用しやすかったが、融通がきかなくなるとして利用しにくい、もっと簡略にして利用しやすくしてほしいとの要望でした。

後半は自主防災組織の結成についてで、横越地域は新潟市でも結成が著しく立ち遅れている、何とか結成して災害に備えて欲しいとの要請に、早速結成したいとの自治会もあり、他の自治会でも結成が出来るよう横越コミュニティ協議会もお手伝いしていきたいと考えています。

地震や水害に対処できる体制の確立、日常的には独居老人や体の不自由な方の把握、避難経路などを備えていく必要があります。

おはよう朝ごはん

料理講習会開催

健康福祉部会長 中村 実

朝ごはんの大切さを学ぶ！

子どもたちの望ましい基本的生活習慣を向上させるとともに、地域社会全体で家庭の教育力を支えようと、コミュニティ協議会、生涯学習センター、地区公民館、食生活改善推進委員の協働で、調理実習やミニ講話などを実施する。おはよう朝ごはん料理講習会が各地域で行われています。

横越コミュニティ協議会では、七月十二日(日)に横越地区公民館調理室で小学生と保護者八組十八人が参加して「おはよう朝ごはん料理講習会」を実施しました。各調理台に親子一組と食生活改善推進委員の指導のもと、親子で協力し合い、和気あいあいな雰囲気の中調理を進めて、盛り付けまで完成。



当日は横越小学校長にも参加していただき、校外での親子の様子などを見ていただきました。

料理が完成し、参加者、スタッフ、ボランティアなど三十六人で、食生活改善推進委員のミニ講話を聞きながら、料理をいただきました。

参加者は普段子どもと一緒に料理をする機会がないので楽しかったなど大変満足したと言っていました。今後このような講習会を行っていききたいと思います。

横バスの運行について

副会長 田村 唯次

日頃皆様から横バスをご利用いただきましてありがとうございます。運行当初の平成二十四年度は一万六千人だった利用者数が、平成二十六年度は運営の目安としていた三万人を超えることができました。

今年四月からは、南ルートがJR荻川駅近くまで延伸しましたので、さらに多くの皆様から利用していただくと期待しております。

家庭も、会社も、地域社会も継続していくことが大切です。あって良かった横バスから、黄色い横バスが走っていることが当たり前になることを願っています。

補助金をいただいている新潟市、

「横雲橋」の書、横越の宝となる

相談役 神田 勝郎



明治八年(一八七五)に初代横雲橋の架橋に際し、当時の県令(県知事)楠本正隆が命名し、依頼した曾我順次氏に贈った書が、中央区有明台の曾我幹男氏から、横越コミュニティ協議会に寄贈されました。

曾我家は、横越下(現東町)の旧家で、明治初期の当主順次氏は、新潟県議会発足当時の県会議員として活躍をした人です。阿賀野川沿い

に位置する横越は、古くから新潟と水原を結ぶ交通の要衝にあり、渡船場が設けられていました。さらに、阿賀野川の対岸に耕作地を持つ横越の人たちは、農作業の往復も全て渡し舟に頼っていました。明治維新を経て、日頃の不便を解消するため、大河に橋を架けるという夢の実現に向けて、有志により就安社(じゅあんしゃ)という会社をつくり、新潟県の許可を得て有料橋を架けました。橋の長さは311m、幅は5.4mでした。

新橋の開通を控えて、曾我順次氏から橋の命名を依頼された楠本県令は、「横雲橋」と命名し、揮毫した書を順次に贈っています。

名前の由来は、大河阿賀野川に雲が棚引くかのように架かる長い橋という意味が込められています。

初代横雲橋の架橋から一四〇年が経ち、曾我順次氏の嫡孫から寄贈されたゆかりの書は、新潟市民文化遺産に認定され、横越の宝として、横越出張所の一階ロビーの壁面に掲額されています。

これを機会に、住民の皆様からも、是非ご覧いただきたいと願っています。

ドキュメンタリー映画上映会

教育文化部長 坪谷 さゆり

田んぼの色も少しずつ変化して、収穫の季節が近づいているのを感じるこの頃です。いつも横越コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力をいただき、有難うございます。

今年度の教育文化部会では、ドキュメンタリー映画「何のために」の上映会を十月に開催いたします。中村文昭氏（クロフネカンパニー代表）が中心になって製作した作品です。ひとりでも多くの人に知ってほしい・見てほしいと思いい企画いたしました。



少しだけ紹介させてもらいますと、十代の何もわからないアンポンタン（中村ご本人の弁です）がある縁をきっかけに、スイッチオンして苦労もあまり苦労と思わずに成功した物語がメインではないのです。スポットをあてているのは、中村文昭さんとの縁でスイッチオンした人たちです。「なぜ、このようになってしまったのだろうか」と後ろばかりを見ているのではなく、「これから、どうしたらいいか」と前向きな気持ちにさせてくれる人たちがばかりです。

上映日は、十月十八日（日）午前十時からで、会場は横越地区公民館多目的ホールの予定です。

申込みは不要ですので、どうぞお気軽にお越し下さい。後日詳しいチラシを配布しますのでご覧ください。

横雲通りピカピカ大作戦実施される

副会長 佐藤 正明

少子化問題の解決、婚活事業の一環として昨年に引き続き「水郷の花嫁さんは船で行く」を、六月七日、小阿賀野川、北方文化博物館で行いました。花婿花嫁さんは、大勢の見物客から祝福をたくさんかけられて大変幸せそうでした。今年もカップルの誕生ができるようイベントを開催し、出会いの場を設けていきたいと考えています。

昨年度自治協議会提案事業の「横越地区子ども会議プロジェクト」で、子供たちから「きれいな横越にしたい」という声があり、子供たちと大人が一緒になって環境美化活動を行い、より住みやすい地域づくりを推進するため八月五日「横雲通りピカピカ大作戦」を実施しました。

中学生ボランティア三十名と学校関係者、コミュニティ協議会委員などで、横雲通りの街灯の清掃を行いました。清掃後、地域のお茶の間の関係者から作っていただいた昼食を食べながら交流を深めました。今後も子供たちと一緒にやる事業を計画していきたいと考えています。

今年度から老人福祉センター「横雲荘」を横越コミュニティ協議会が指定



管理者として運営を行っています。施設を活用した活動や事業を皆様から提案をいただいで計画していきたいと考えています。「横雲荘」のご利用をよろしく願っています。

当協議会は、地域の諸問題を協議し、行政や関係機関に働きかけを行い、問題解決に向け活動していきますので、地域課題などを協議会にご相談くださいますようお願いいたします。

よろしくお願ひします

平成二十七年 度 横越コミュニティ協議会 委員名簿

役職等	氏 名	所 属 部 会	所 属 団 体 等
相 談 役	神 田 勝 郎		
会 長	本 間 一 人		横越地区文化協会
副 会 長	佐 藤 正 明	教育文化部会	木津自治会
〃	田 村 唯 次	健康福祉部会	横越スポーツ振興会
運 営 委 員	井 越 正 夫	教育文化部会	横越中学校父母と教師の会
〃	井 上 慧	健康福祉部会	川根谷内自治会
〃	宇 野 雅 英	まちづくり部会	木津自治会
〃	斎 藤 龍 夫	教育文化部会	横越新田自治会
〃	残 間 昇	教育文化部会 ○	横越小学校 P T A
〃	坪 谷 さゆり	教育文化部会 ◎	公募委員
〃	中 村 実	健康福祉部会 ◎	横越地区民生委員児童委員協議会
〃	仲 村 義 信	教育文化部会	二本木自治会
〃	長谷部 一 裕	まちづくり部会 ◎	横越異業種交流会
〃	原 田 勤	まちづくり部会 ○	横越商工会
〃	山 本 美 幸	健康福祉部会 ○	N P O えんではよごし
〃	和 澄 徹	まちづくり部会	藤山・駒込・うぐいす自治会
監 事	高 橋 博	健康福祉部会	沢海区会
〃	若 生 昭 男	まちづくり部会	二本木自治会

協 議 委 員	石 倉 良 英	教育文化部会	藤山・駒込・うぐいす自治会
〃	加 藤 勉	健康福祉部会	横雲ニュータウン自治会
〃	熊 木 惣 衛	まちづくり部会	横越美浦交流協会
〃	小 池 保 夫	健康福祉部会	横越新田自治会
〃	小舟戸 正 夫	まちづくり部会	小杉自治会
〃	坂 井 豊 明	まちづくり部会	横越上町自治会
〃	佐 藤 正 一 郎	健康福祉部会	横越東町自治会
〃	佐 藤 忠 志	教育文化部会	小杉自治会
〃	田 村 雅 俊	まちづくり部会	横越地区地域公民館協議会
〃	中 村 正 孝	教育文化部会	沢海区会
〃	中 村 淳 一	健康福祉部会	老人クラブ連合会横越地区協議会
〃	松 本 里 志	教育文化部会	茜ヶ丘自治会
〃	目 黒 幸 子	健康福祉部会	横越連合婦人会
〃	高 橋 達 一 郎	まちづくり部会	横越東町自治会

役員名簿と主な取り組み

四月から老人福祉センターの指定管理者として横雲荘の運営をしています。通常業務のほかには子供の居場所づくり、若者支援、高齢者支援などを推進中です。

子供の居場所については検討会議をへてどのような活動ができるか考えて行きますが、皆様の要望や意見をお寄せ下さい。

若者支援は婚活に力を入れていきます。第二、第三の水曜日には担当が横雲荘に常駐し世話やき活動を行いますので、お気軽にお立ち寄り下さい。郵送でもお受けしますので住所、氏名、生年月日、連絡先を明記の上〒950-0208 老人福祉センター横雲荘内本間一人宛に送ってください。高齢者対策として地域の茶の間の充実に社会福祉協議会などと連携し力を入れていきます。

江南区社会福祉協議会が亀田に移転し何かとご不便な点もあろうかと思いますが、何事にも対応いたしますので、お気軽にお立ち寄りいただければと思います。

子どもむけ本の寄贈を

横越コミュニティ協議会では老人福祉センター内「横雲塾」で活用する図書の寄贈をお願いしています。

横雲塾は、放課後の児童の居場所づくりを行うもので時間帯や内容については検討中です。ボランティアの参加、ご意見等お寄せいただければ幸いです。本の寄贈については、横雲荘で随時受け付けています。